

一、厚生労働省が発表した世界各国の感染状況の統計（別添1）によると、台湾は中国と別であり、台湾が中国の感染地域ではないことは明らかです。また、中国の20,000人あまりの感染者と比較し、台湾の感染者は10人程度に過ぎず、感染状況は比較的軽度です。

二、外務省が発表した感染リスクに関する危険情報では、台湾は危険レベルはなく、中国湖北省は危険レベル3(渡航中止勧告)とされている。(別添2)

三、日本の航空会社は続々と中国武漢、北京、上海などの路線を運休・減便の対策（別添3）を取っているが、台湾の路線は通常通り、運行を継続している。

四、上記の通り、台湾の感染状況は中国より明らかに軽度であることを説明し、台湾パスポートを提示し、中国のパスポートとは違うことを説明する。